



第17回女子ハンドボールアジア選手権 戦況連絡票



開催日	2018年 12月 2日	日曜日	試合コード	
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	八代市総合体育館	

結果	A	スコア				B
	カザフスタン	51	前半	14	ニュージーランド	
			26-5			
			後半			
			25-9			
			第一延長前半			
			—			
			第一延長後半			
			—			
			第二延長前半			
			—			
	第二延長後半					
—						
KAZ	7m c	—	—	NZL		

戦況	見出し	多彩な攻撃でカザフスタン快勝
	前半	<p>KAZのスローオフから前半スタートした。KAZは序盤からWポスト攻撃を仕掛け先制点を取る。KAZは変則4-2DFを引いた。そんなKAZに1本目の攻撃でNZLはNo. 15の強引なカットインから1点目を取る。しかし、KAZは安定した攻撃的な4-2DFや3-2-1DFなどを引き、インターセプトから次々と速攻を仕掛け、8-1と点差を広げた。NZLはたまたらここでタイムアウトを請求した。タイムアウトからカットイン攻撃が強引になったNZL、しかし、KAZもそれに対しDFのラインをあげ、さらにインターセプトからの速攻を重ねていく。前半残り10分を迎え、得点は15-3。ここでNZLがDFのインターセプトから速攻が2本連続であるが、シュートまで運べない。NZLが終盤カットインで得点をするが、No. 24、No. 9などの安定した速攻と、Wポストを多彩に使い分けたセットオフenseでKAZ</p>
後半	<p>後半に入り、投入されたNZL No. 1の好セーブが続き、NZLはオフenseで元気を取り戻し、No. 15のカットインで先制した。そんなNZLに対し、少しリズムを崩したように思えたKAZだったが、No. 14のポスト、No. 15のカットインで本来のリズムを取り戻し32-7と着実に点を広げていく。さらに、Wポストとワンポスト攻撃を多彩に使い、No. 15、No. 9のロングやカットイン、No. 14のポストの活躍があり、点数は40-11となった。NZLもなんとか食らいつこうと、No. 2のカットインなどで猛攻するも、ここでたまたらタイムアウトをとった。しかし、流れはそのまま変わらず、その後も、前半同様の流れをつかんだKAZが51-14で快勝した。</p>	

戦況報告書作成者	安田 妙子
----------	-------

The match of Kazakfstan and New Zealand was one sided game. Kazakfstan that wanted to get 3 wins started 3-3DF, and New Zealand could not make effective attack against that DF. Kazakfstan produced 26th goal mainly counter attack in first 30minites (26:5).

Even in latter half, that situation did not change. New Zealand' offense failed many times. Kazakfstan made use of that failure and scored more. They got 43rd goals over 20minites. New Zealand tried to reduce the gap until end of the match, but Kazakfstan did not allow it (51:14).